

## 臨床検査管理学特論

《担当者名》○遠藤輝夫 近藤 啓 吉田 繁

## 【概要】

我が国の臨床検査は、国際化の流れを受けて検査前・検査中・検査後の「精度保証」のみならず、良質な検査管理業務も含めた「品質保証」の概念が広まりISO 15189(臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)のような国際規格に基づく認定を取得する施設が増加している。本特論では、様々な視点から適正な組織の管理・運営を実践するリーダーとしての実行能力を身につけるため、従来の精度保証に加えて、検査部門の人事・労務管理、人材育成、コスト管理、試薬・物品等の管理、機器・検査システム管理、第三者機関による外部評価の良質な検査管理業務を含めた検査室管理業務、さらに、医療機関における安全管理とリスクマネジメント、チーム医療とコミュニケーション、地域医療、災害対策についても学び、検査室管理運営の実際に関する系統的な内容について学修する。

## 【学修目標】

- 1) 幅広い知識、高い倫理観を備えた医療人として、多様な背景を持った人々や組織間と共感し、円滑なコミュニケーションを行う能力を身につけるために、管理者に必要なコミュニケーションについて理解する。
- 2) 様々な視点から現状と課題を把握し、科学的根拠に基づいた的確な判断を持って、適正な組織の管理・運営を実践するリーダーとしての実行能力を身につけるために、管理者に必要な管理業務、リーダーシップを理解する。
- 3) 国内外の社会情勢を的確に把握し、身近な地域から世界規模での医療問題にも目を向け、様々な場面において修得した能力の応用を考え、自ら成長できる能力を身につけるために、国外の臨床検査システムについて理解する。
- 3) 検査室の精度保証に必要な要件について説明できる。
- 4) 我が国の医療保障制度、老人保健制度、介護保険制度を説明できる。
- 5) 検査室の収支の仕組みを説明できる。
- 6) 品質保証のために必要な要件を説明できる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	管理の概念	・管理の概念・機能 ・組織 ・人間関係管理	遠藤輝夫
2	管理の仕事と役割	・管理のあり方 ・マネジメント ・リーダーシップ ・医療コミュニケーション ・組織間内外とのコミュニケーション、多職種連携	近藤 啓
3	医療における組織体制とチーム医療	・国、地方自治体 ・医療施設の組織 ・チーム医療 ・医療関係法規	遠藤輝夫
4	医療における環境の変化	・医療機関をめぐる環境の変化 ・医療保険制度の変化が検査室に与える影響	近藤 啓
5	我が国の医療保障制度と医療倫理	・医療保険 ・公費負担医療制度 ・老人保健制度 ・介護保険制度 ・医療倫理	遠藤輝夫
6	検査室の管理運営の実際	・検査室を管理するのに必要な要件 ・管理運営の実例	吉田 繁
7	検査室の経済管理	・国外の臨床検査システム ・診療報酬の仕組み ・検査点数 ・物品の管理	遠藤輝夫
8	検査室の人事管理	・採用と退職 ・人員配置とローテーション	吉田 繁
9	検査室の労務管理	・労働基準法 ・就業規則	遠藤輝夫

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・安全衛生と災害補償 福利厚生	
10	検査室の施設・設備管理	・検査室の設計 ・施設設置基準	吉田 繁
11	検査室のシステム管理	・オーダリングシステム ・臨床検査システムの最新知識	近藤 啓
12	検査室の危険性物質の管理	・危険性物質 ・感染性廃棄物 ・バイオ関連の廃棄物	近藤 啓
13	臨床検査技師の教育	・卒前教育 ・卒後教育（新人教育、育成プログラム） ・コミュニケーション技術	吉田 繁
14 ） 15	臨床検査の精度保証とコンサルテーション	・国際的な認証制度（ISO15189、CLIA、CAP-LAP）	遠藤輝夫

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

課題レポート 100%

**【評価基準】**

品質保証の概念を理解し、ISO15189などによる国際規格に基づく検査室運営について論説できる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

**【備考】**

講義資料を配布する。

Google Form を利用して学習課題を提示する。

教科書は使用しない。

その都度プリントを配布する。

**【学修の準備】**

各回に記載された授業内容の意味を事前に調べておくこと。（80分）

講義で配布した資料について理解しておくこと。（80分）

**【ディプロマポリシーとの関連性】**

（DP1）幅広い学識、高い倫理観を備えた医療人として、多様な背景を持った人々と共感し、円滑なコミュニケーションを取る能力を身につけていること。

（DP3）様々な視点から現状の課題と今後の医療環境の変化を把握し、科学的根拠に基づいた確かな判断を持って、組織の管理運営を実践できるリーダーとしての能力を身につけていること。

**【実務経験】**

遠藤輝夫（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、吉田 繁（臨床検査技師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での実務経験を活かし、医療機関内外から信頼される検査室の管理、運営法について講義する。